【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第６区分
【発行日】平成18年3月16日(2006.3.16)

【公開番号】特開2000-219262(P2000-219262A)
【公開日】平成12年8月8日(2000.8.8)
【出願番号】特願平11-315893
【国際特許分類】
Ｂ６５Ｄ　51/24　　(2006.01)
Ｂ６５Ｄ　47/32　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６５Ｄ　51/24　　Ｇ
Ｂ６５Ｄ　47/32　　Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成18年1月27日(2006.1.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　液体飲料が収容される容器本体と、
この容器本体に挿しこまれるべきストローが通る開口部と、
前記容器本体の内圧を調整するために開閉される内圧調整手段と
を備えており、
前記内圧調整手段を開くことにより、外部と連通する連通手段の開口面積が１０平方ミリメートル以上とされていて、
前記内圧調整手段が、
前記容器本体の上部に対して着脱される蓋部材に対して、ストローを挿通するために前記開口部として設けられた第１の蓋開口部とは別に外部と連通した第２の蓋開口部と、
該第２の蓋開口部を開閉する弁装置とを備え、
前記弁装置は、前記容器本体内に高温の液体を収容したときに、第２の蓋開口部と外部を連通する構成とした
ことを特徴とする、飲料容器。
【請求項２】　前記弁装置が、柔軟な樹脂材料で板状に形成されており、固定部と、該固定部以外の自由端とを有し、該自由端が前記第２の蓋開口部を開閉する弁体とされていることを特徴とする請求項１に記載の飲料容器。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
【課題を解決するための手段】
上記目的は、請求項１の発明にあっては、液体飲料が収容される容器本体と、この容器本体に挿しこまれるべきストローが通る開口部と、前記容器本体の内圧を調整するために開閉される内圧調整手段とを備えており、前記内圧調整手段を開くことにより、外部と連通する連通手段の開口面積が１０平方ミリメートル以上とされていて、前記内圧調整手段が、前記容器本体の上部に対して着脱される蓋部材に対して、ストローを挿通するために

前記開口部として設けられた第１の蓋開口部とは別に外部と連通した第２の蓋開口部と、該第２の蓋開口部を開閉する弁装置とを備え、前記弁装置は、前記容器本体内に高温の液体を収容したときに、第２の蓋開口部と外部を連通する構成とした飲料容器により、達成される。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
請求項２の発明は、請求項１の発明の構成において、前記弁装置が、柔軟な樹脂材料で板状に形成されており、固定部と、該固定部以外の自由端とを有し、該自由端が前記第２の蓋開口部を開閉する弁体とされていることを特徴とする。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１１】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１８
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１９
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２０
【補正方法】削除
【補正の内容】